

表面処理技術のさらなるグローバル展開をめざして

第56期・2016年3月期

第2四半期決算説明会資料

株式会社 JCU

東証1部 4975

2015年11月9日(月)

<http://www.jcu-i.com/>





- 2016年3月期第2四半期決算概要
- トピックス
- 参考資料（会社概要）

当社決算の概況

《電子部品分野向け》

中国の景気が減速傾向の中、スマートフォン等のプリント基板を手掛ける顧客の稼動が昨年に続き高水準で推移。
当社の“ビアフィリング銅めっき薬品”も昨年に続き高水準をキープ。

《自動車分野向け》

国内の薬品販売は横ばい。一方、海外は中国の景気減速の影響が心配されたものの、拡販による新規ライン獲得により、堅調に推移。

《財務トピックス》

上半期に計画していたFPC戦略プロジェクトのR&D費用2.4億円のうち、0.7億円を2Qに計上。残りは、3Q以降に計上見込み。

2016年3月期2Q累計 業績概況

【連結】

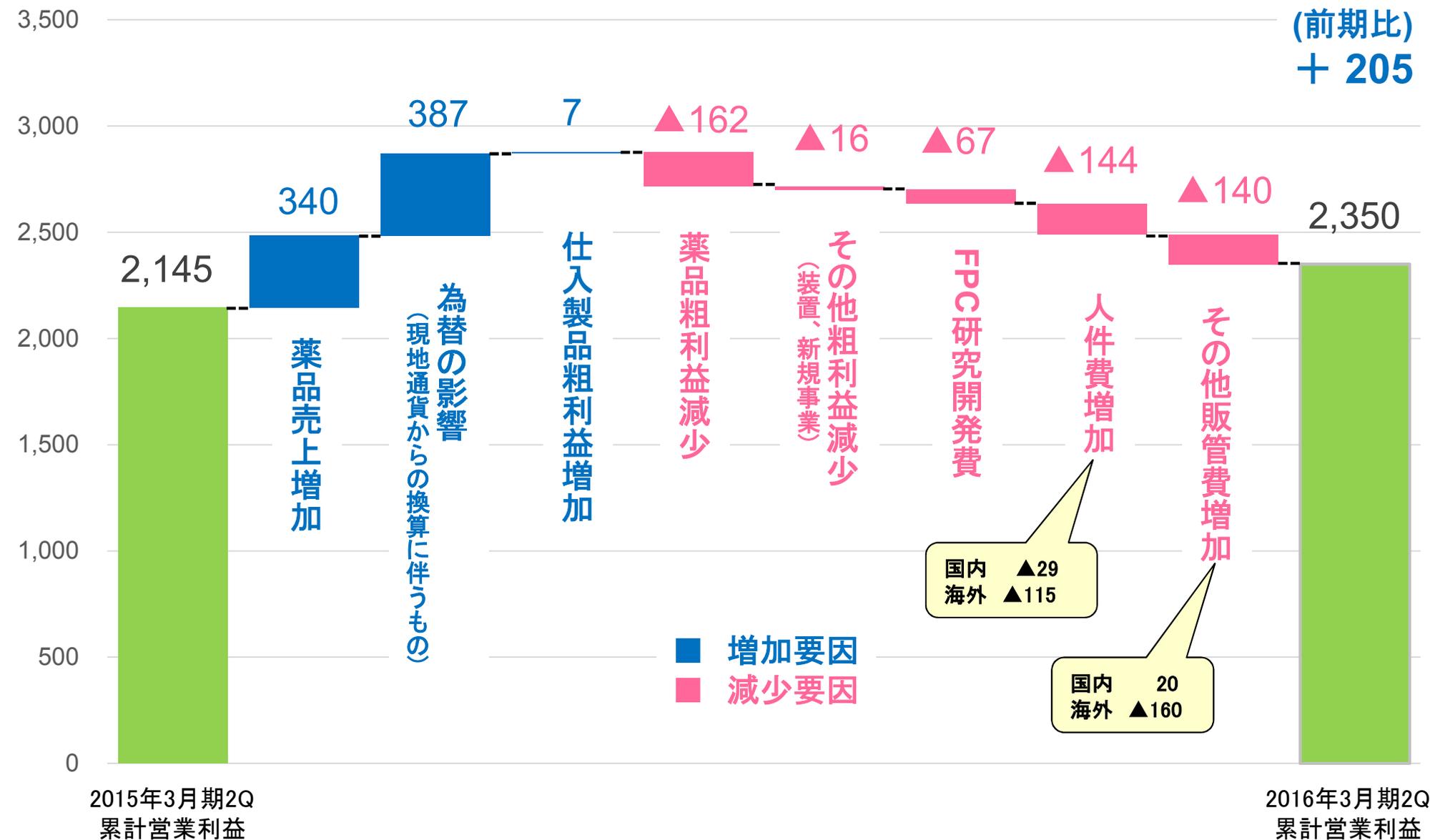
(単位:百万円)

決算期	2014年3月期 上半期	2015年3月期 上半期	2016年3月期 上半期		
	実績	実績	期首予想	実績	対前年同期 増減率
売上高	7,753	9,384	10,000	9,928	5.8 %
営業利益	1,115	2,145	2,000	2,350	9.6 %
経常利益	1,278	2,173	2,000	2,387	9.8 %
当期純利益	773	1,441	1,300	1,605	11.4 %
1株当たり 当期純利益	109円66銭	204円31銭	184円28銭	227円64銭	—

2014年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。
2014年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益額を算定しております。

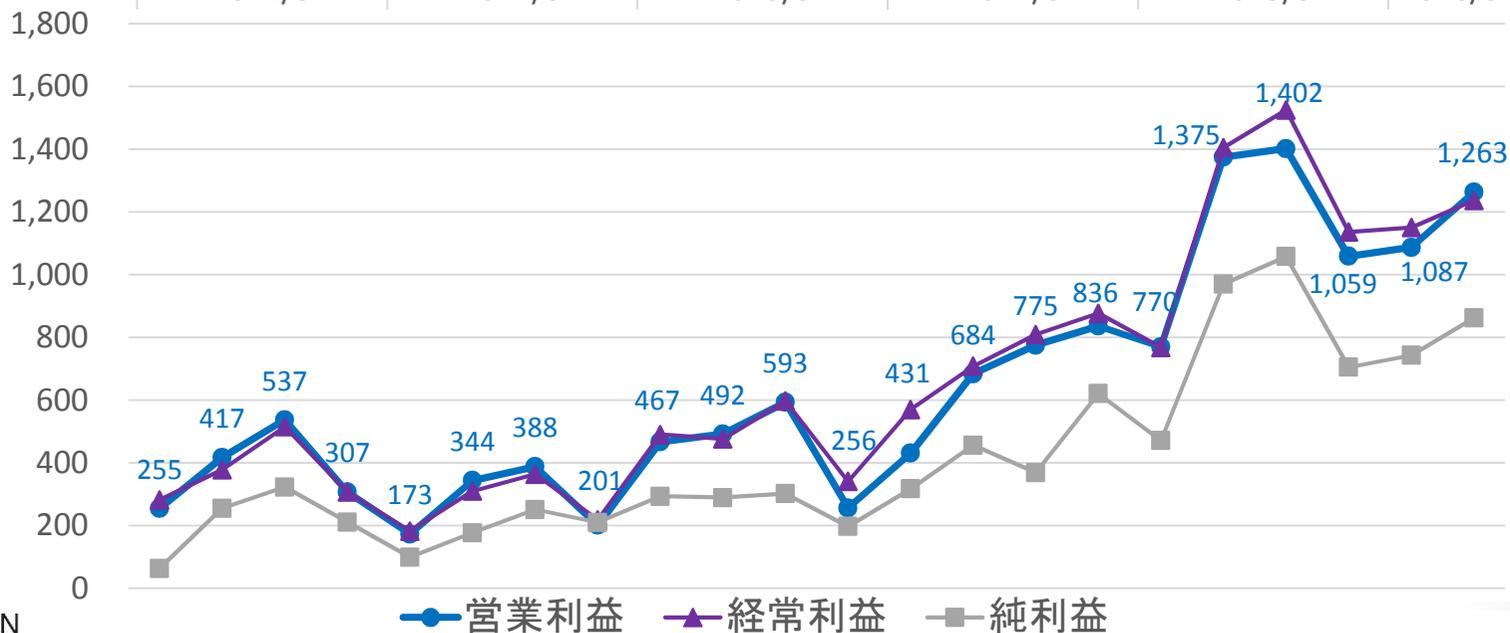
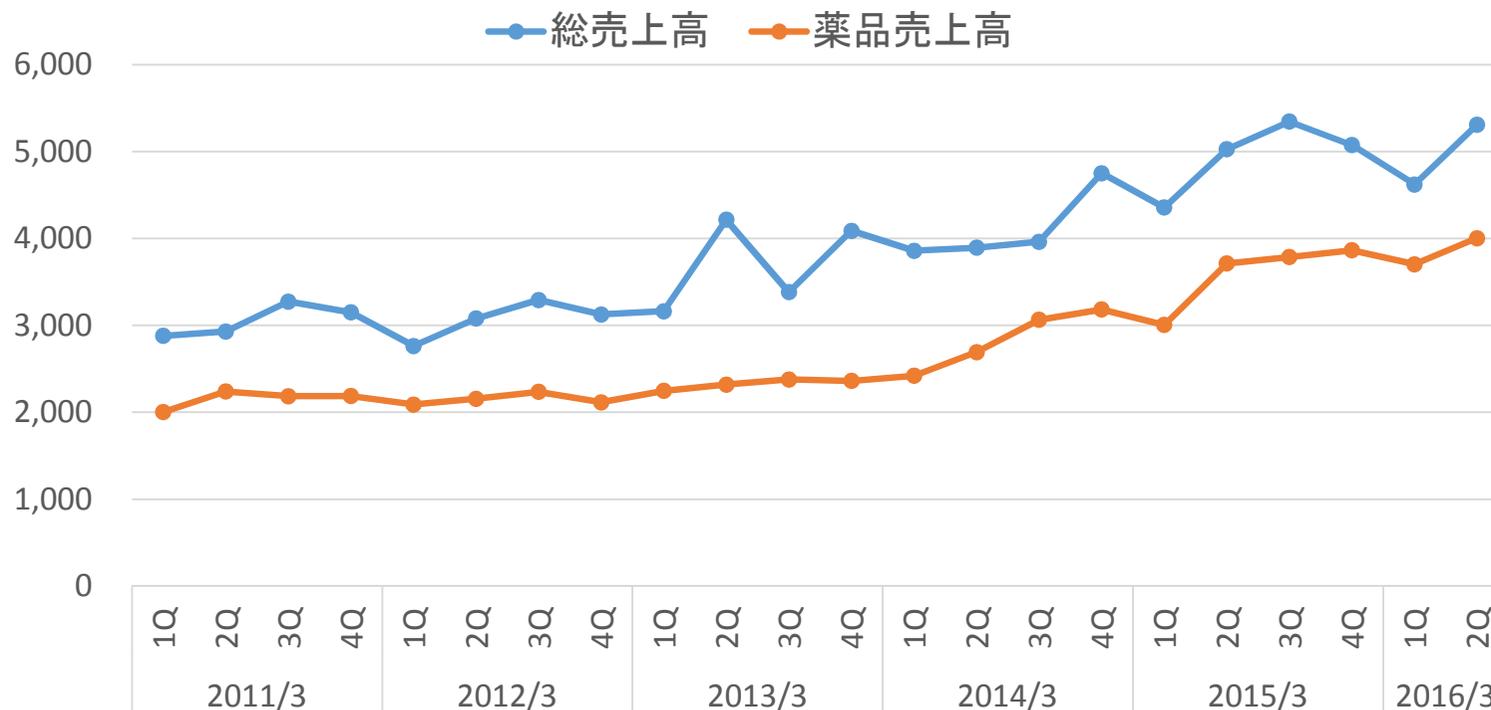
2016年3月期2Q累計 連結営業利益 増減内容

(単位:百万円)



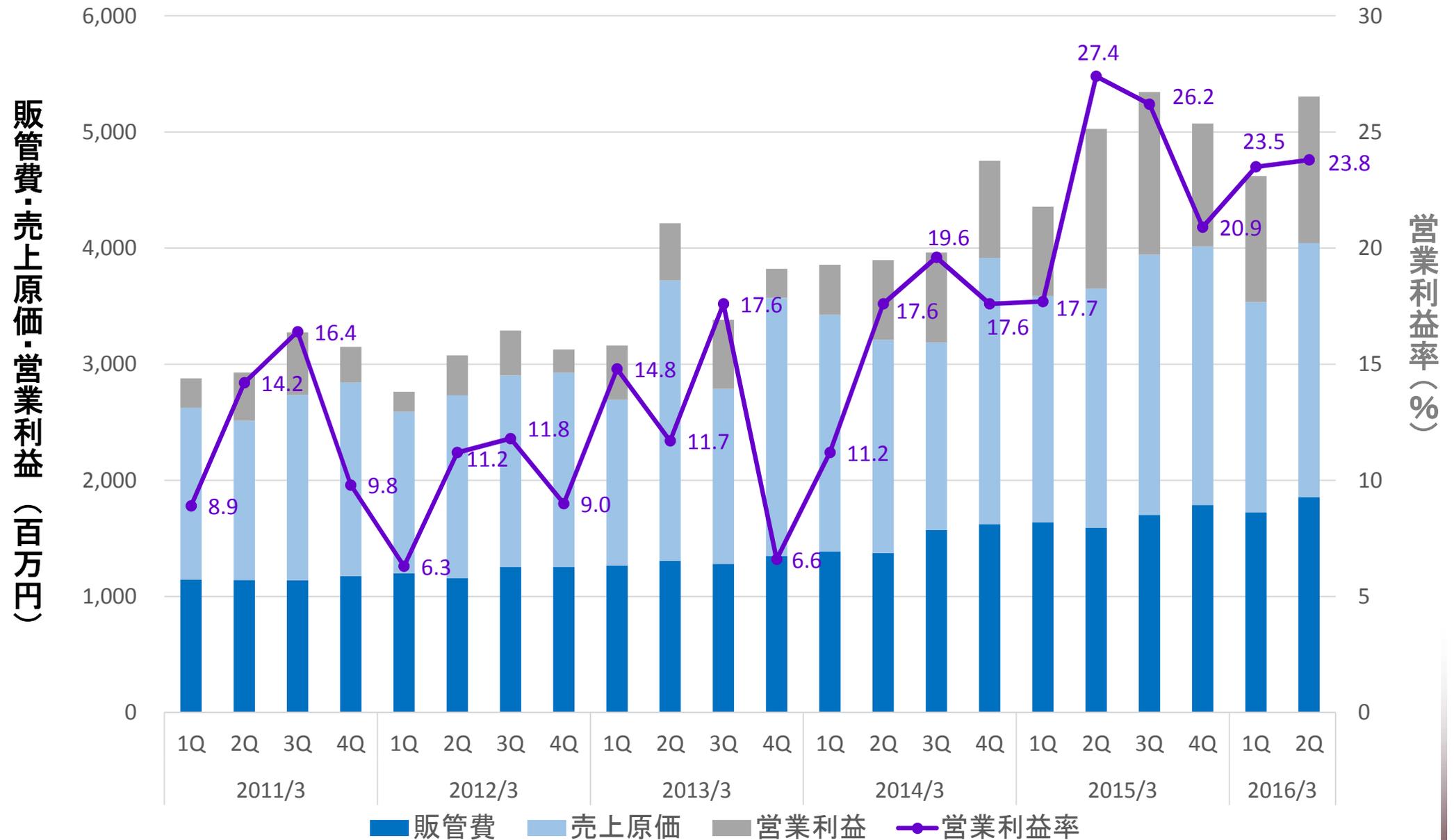
四半期別 連結業績の推移

(単位:百万円)



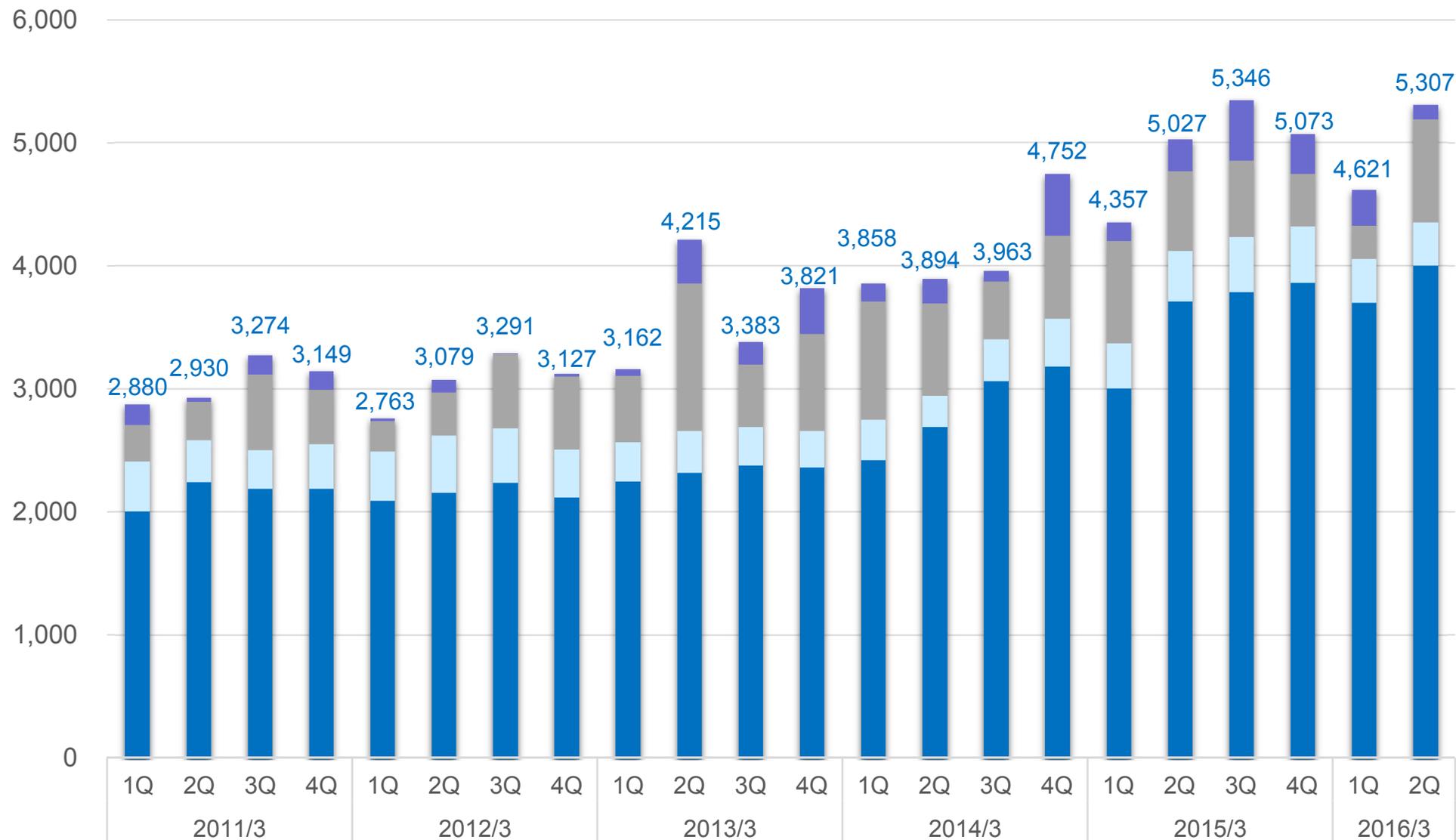
青文字: 営業利益

四半期別 販管費・売上原価・営業利益・営業利益率推移



四半期別 連結売上高の推移

(単位:百万円)

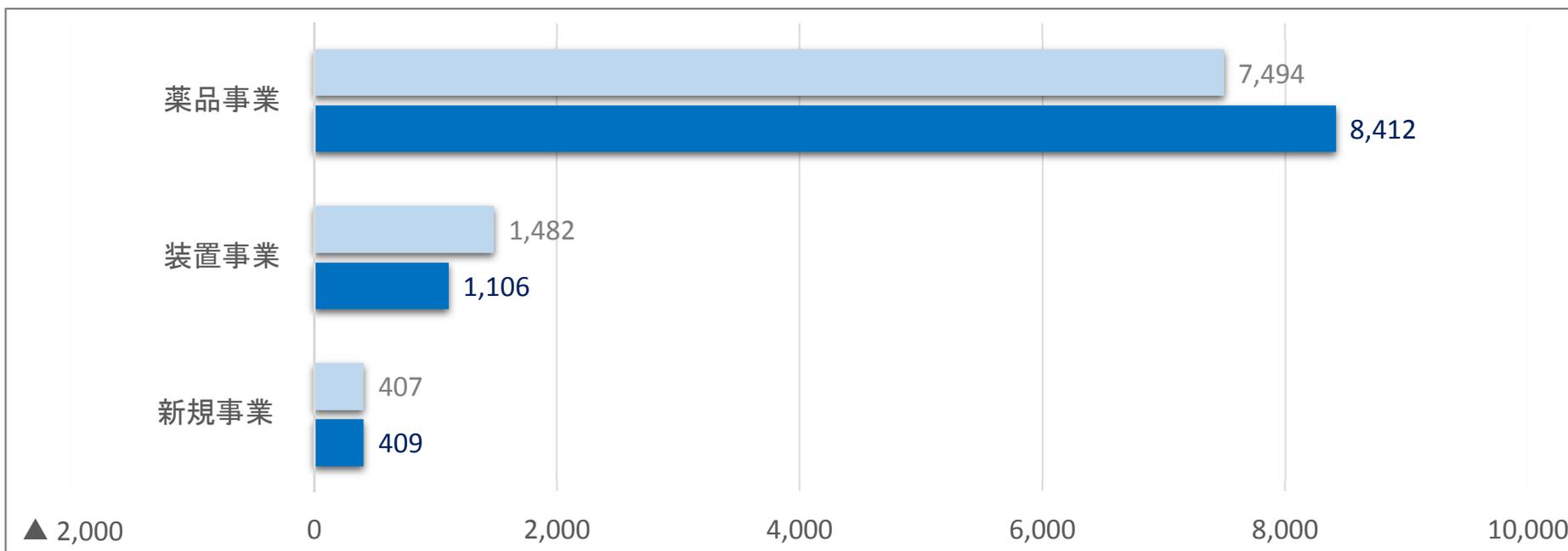


■ 藥品事業(藥品) ■ 藥品事業(仕入製品) ■ 装置事業 ■ 新規事業

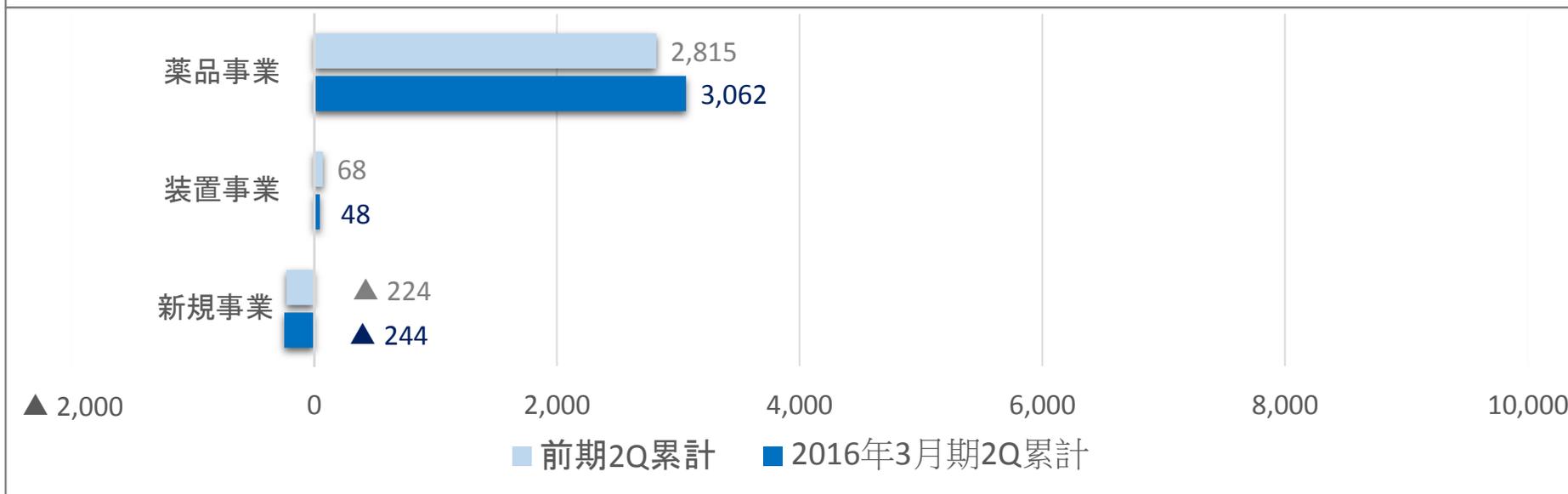
2016年3月期2Q累計 連結セグメント業績

(単位:百万円)

売上高

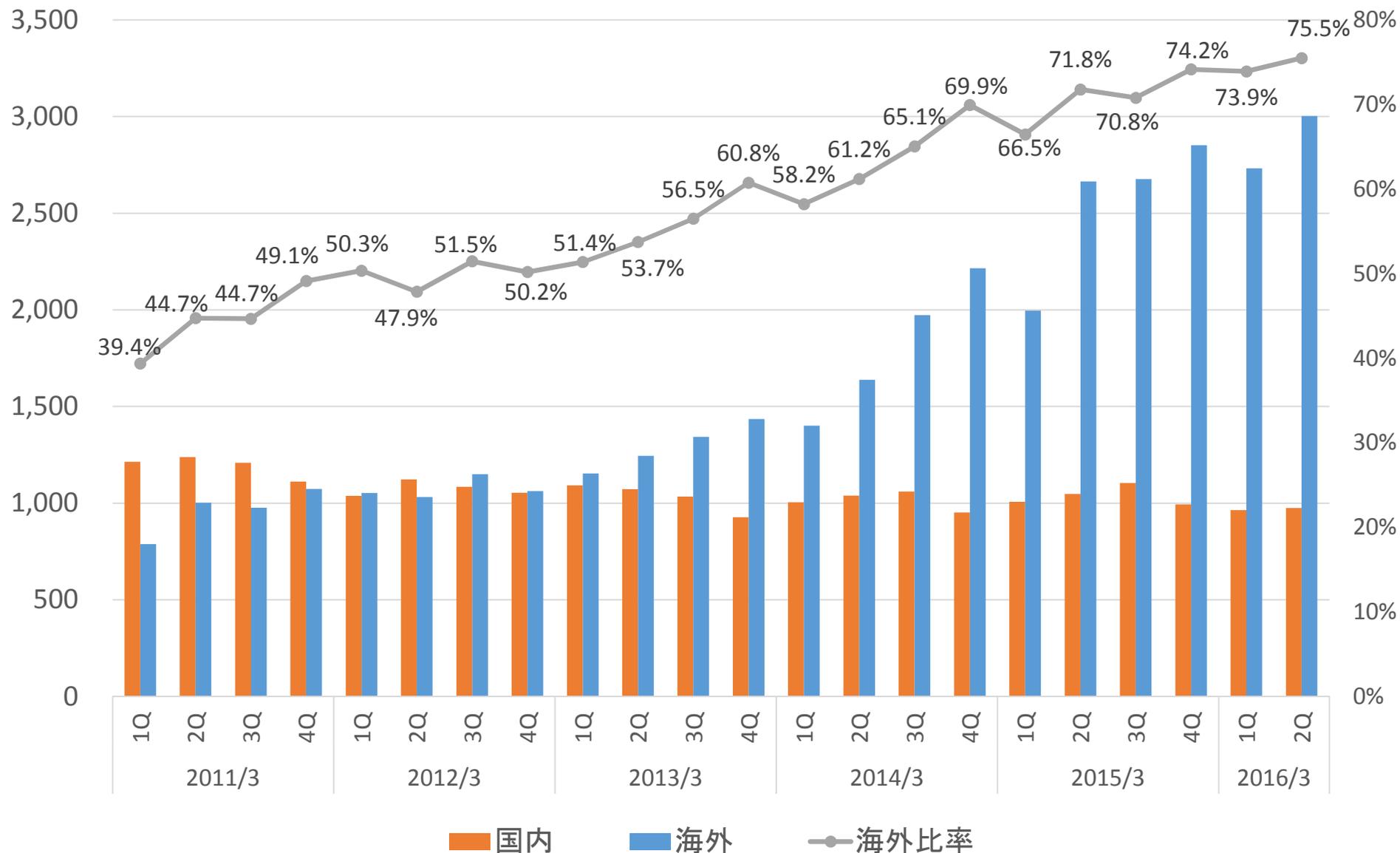


セグメント利益



四半期別 国内外薬品売上高推移

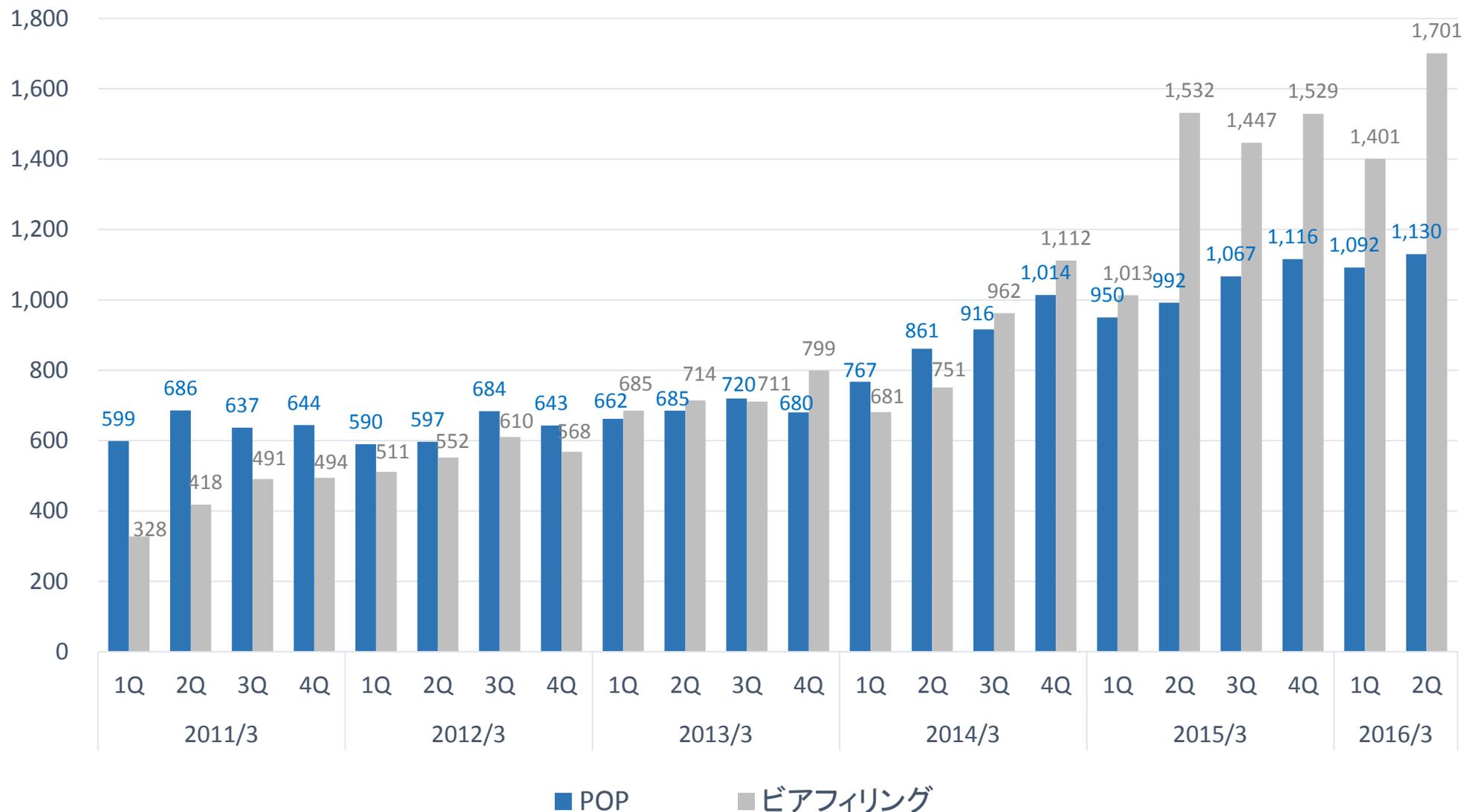
(単位:百万円)



四半期別 POP、ビアフィリング用薬品の売上高推移

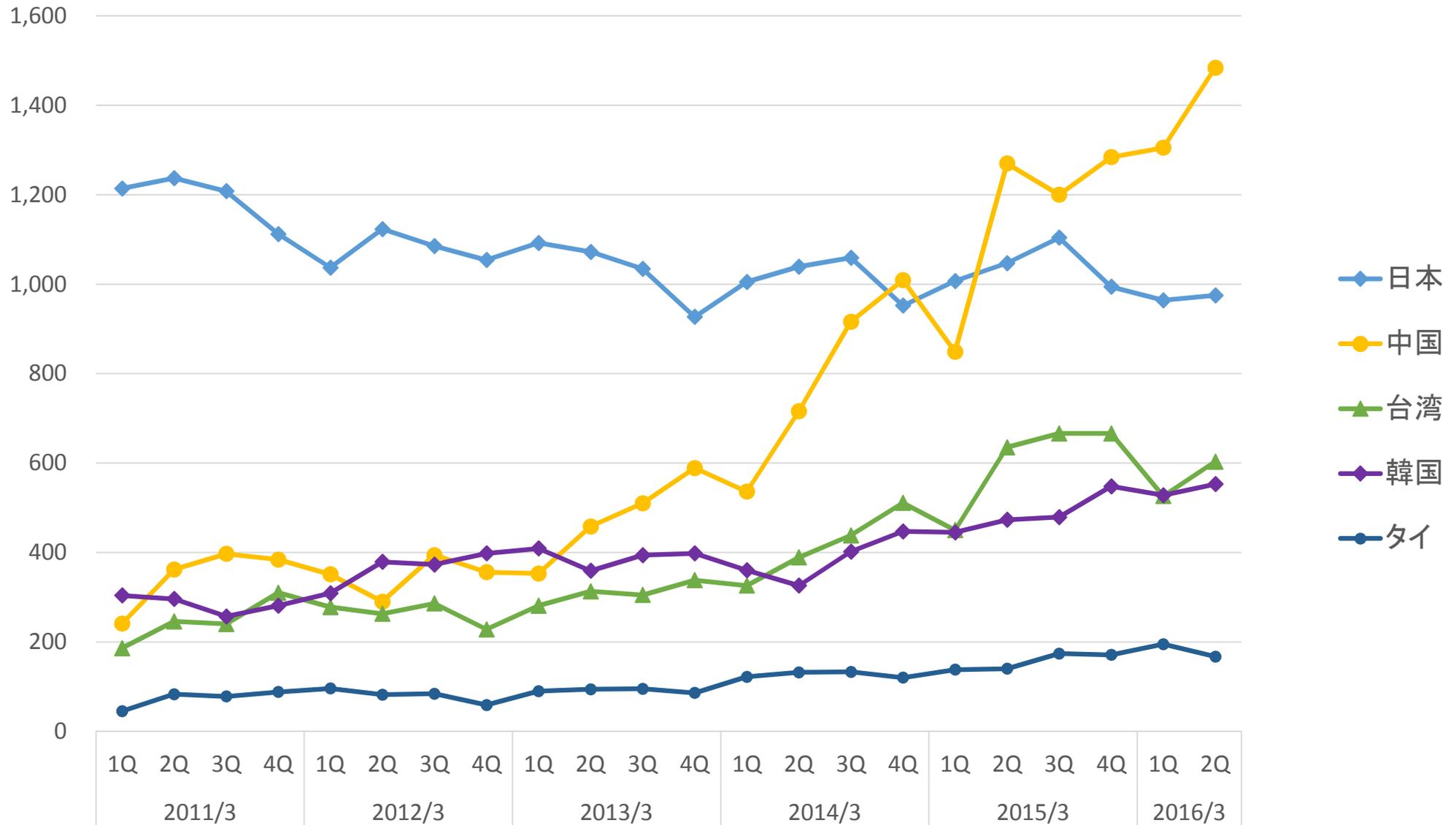
(単位:百万円)

POP (Plating on Plastics) … プラスチック上へのめっきで、主に自動車部品向け
 ビアフィリング … プリント配線板向け銅めっき添加剤、主にスマートフォン、PC等



四半期別 地域別薬品売上高の推移

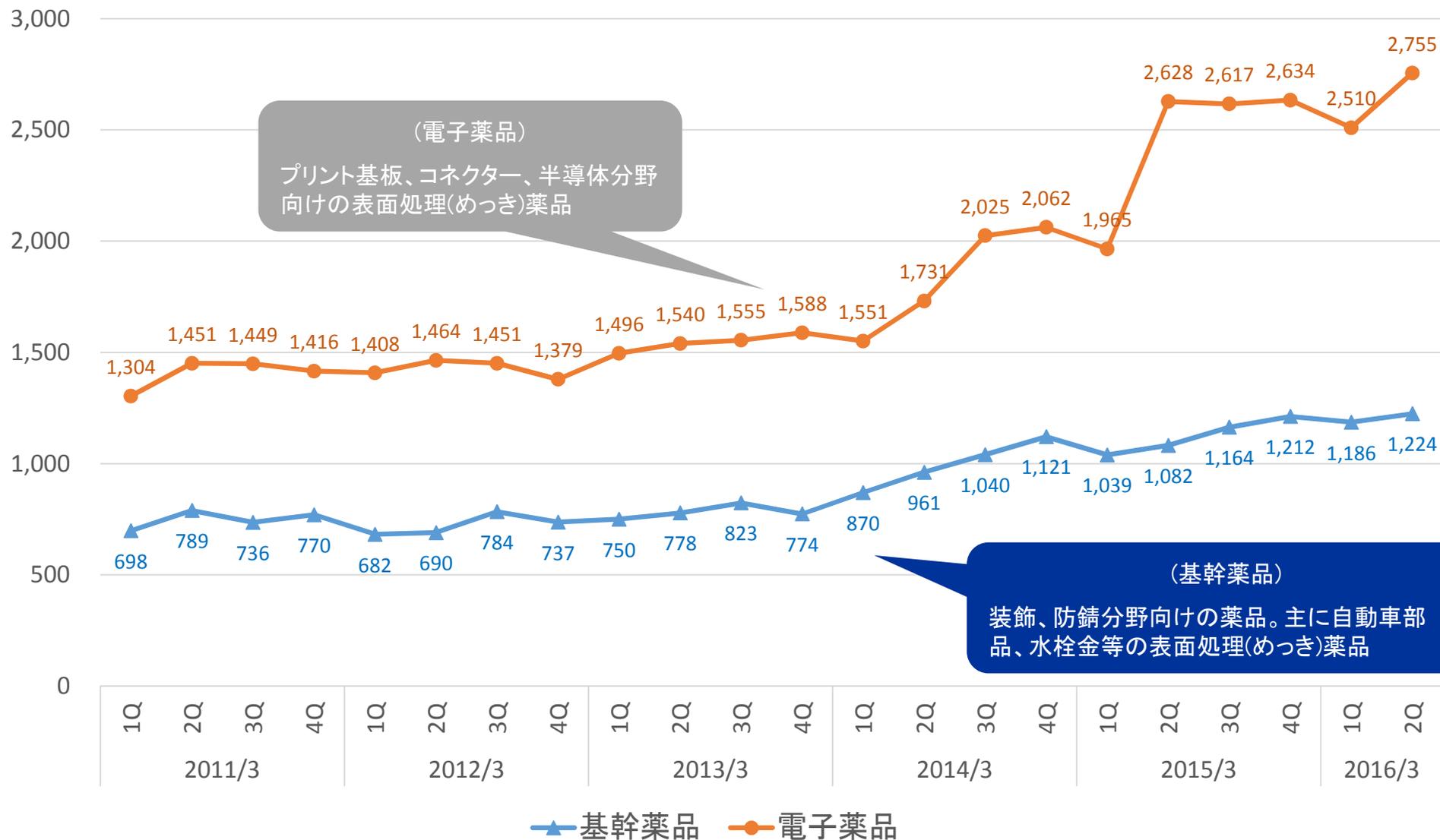
(単位:百万円)



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位:百万円)

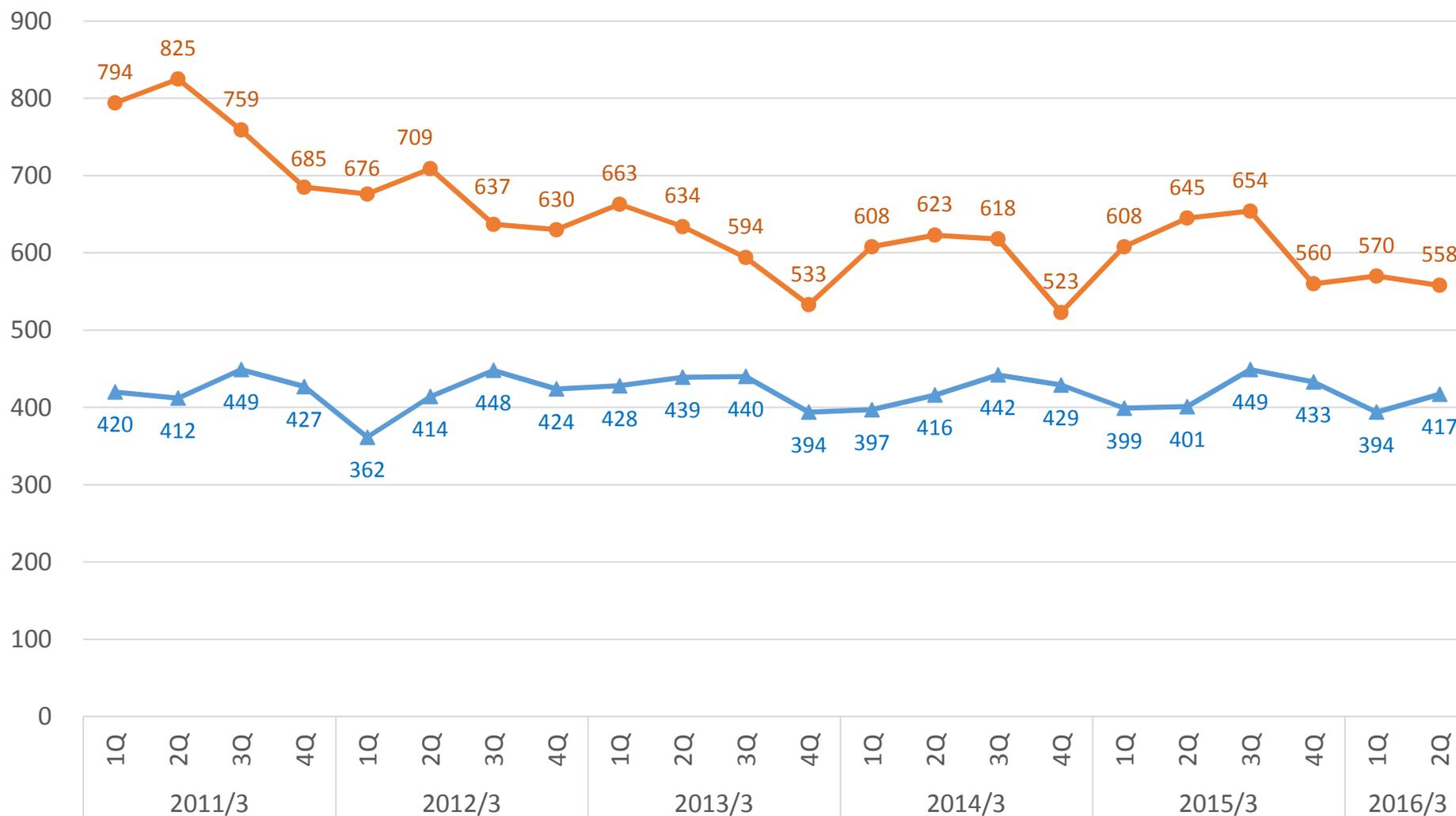
連結



四半期別 地域別薬品売上高の推移

国内

(単位:百万円)

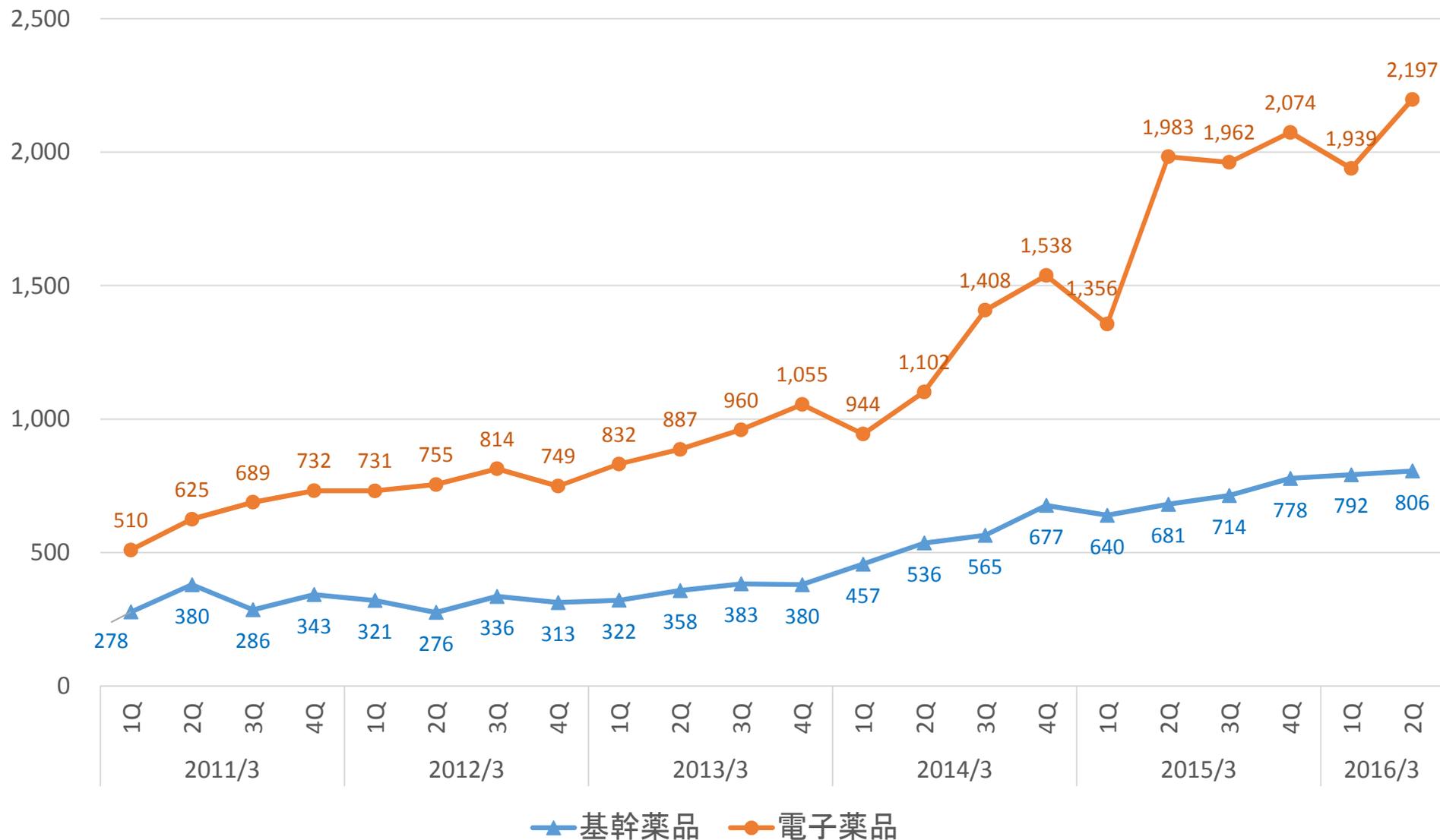


▲ 基幹薬品 ● 電子薬品

四半期別 地域別薬品売上高の推移

海外

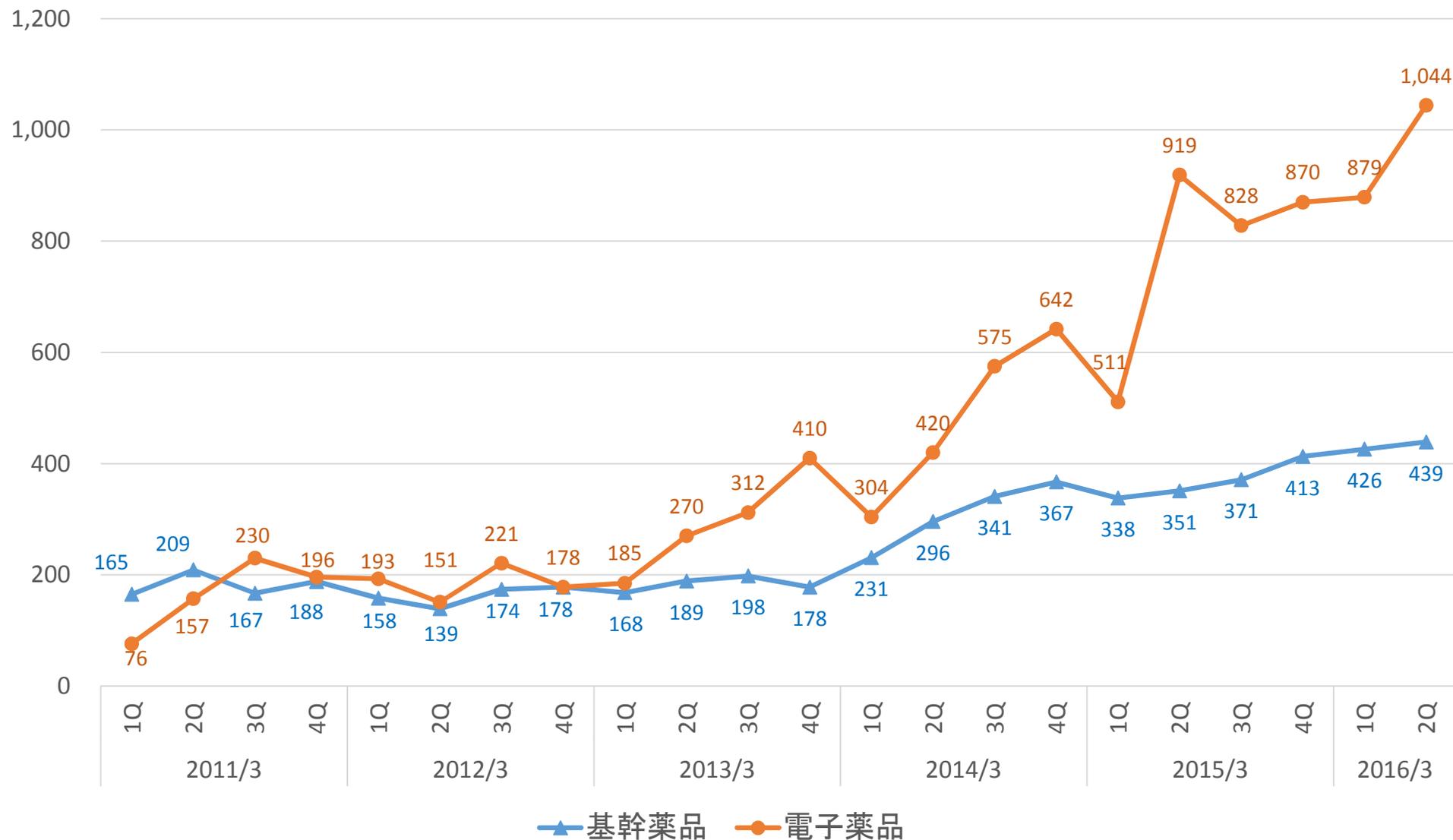
(単位:百万円)



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位:百万円)

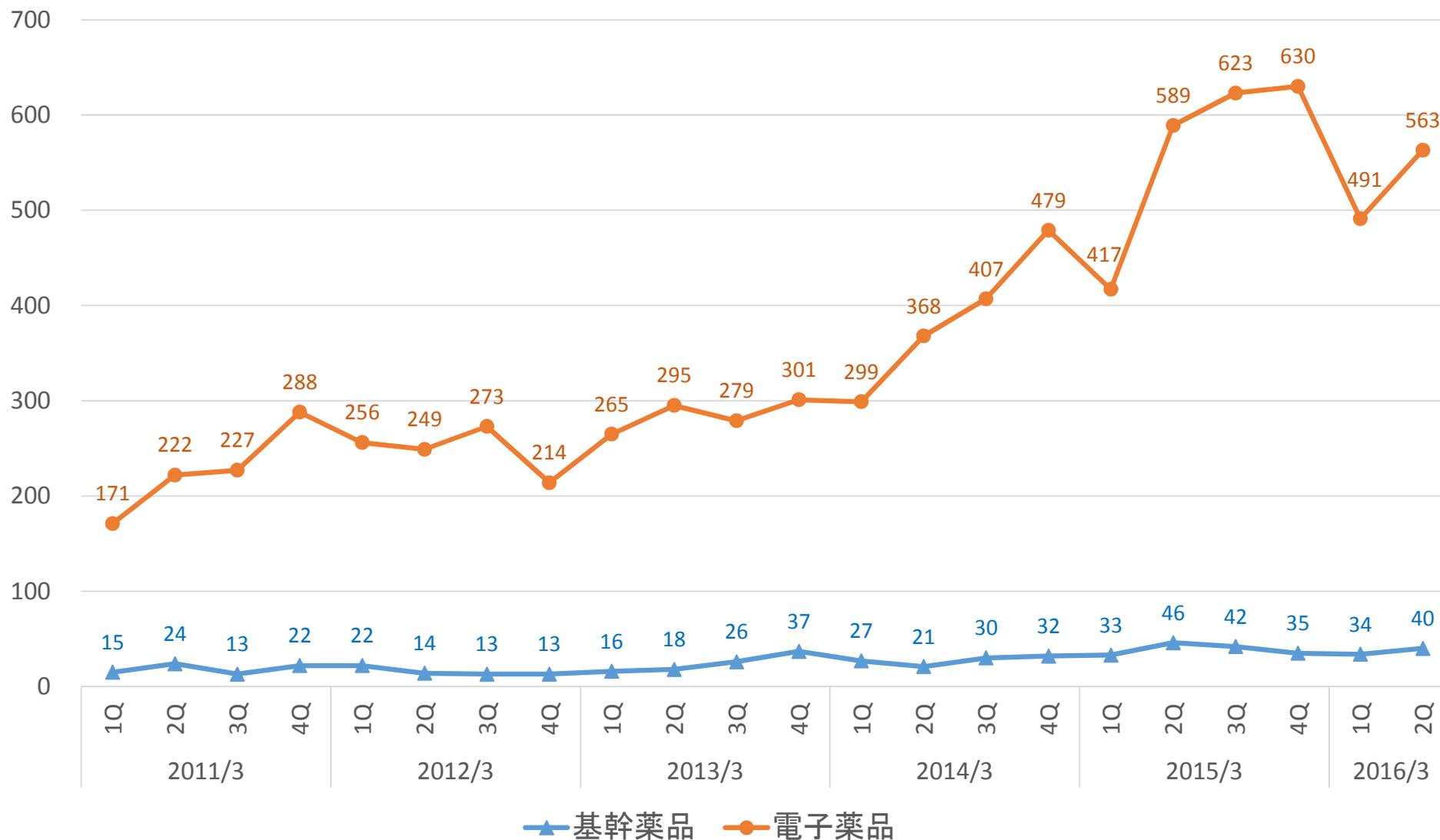
中国



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位:百万円)

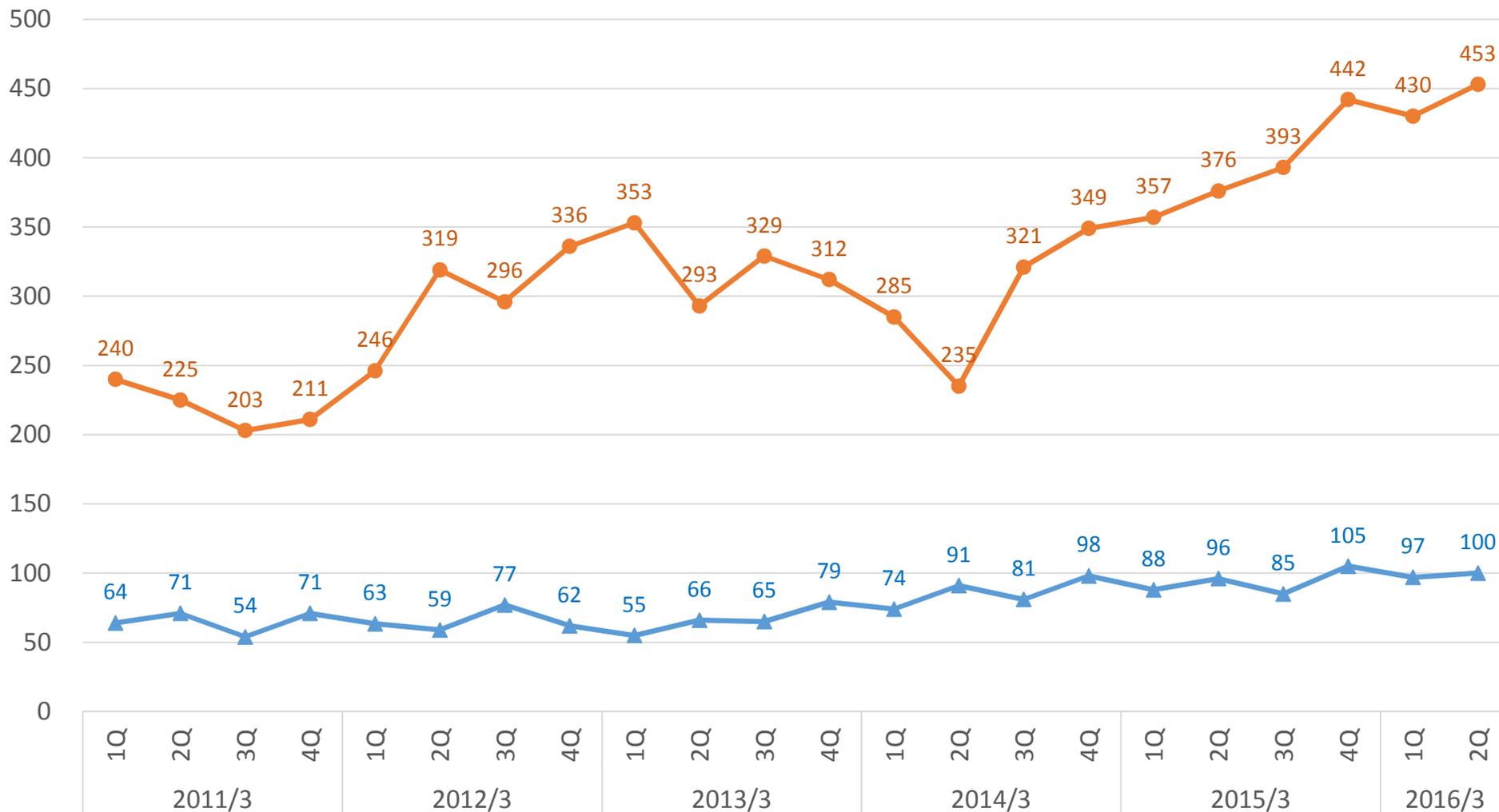
台湾



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位:百万円)

韓国



▲ 基幹薬品 ● 電子薬品

2016年3月期 配当予想

	1株当たり配当金		
	中間	期末	年間
2016年3月期 (8/3発表 修正予想)	60円 (内:記念配当10円)	60円 (内:記念配当10円)	120円
2016年3月期 (期首予想)	50円	50円	100円
2015年3月期	40円	50円	90円
2014年3月期	27.5円 (内:記念配当5円)	27.5円	55円

(注) 2014年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合を持って株式分割を行っております。
2014年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり配当金を算定しております。

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために適正な自己資本比率を維持しつつ、業績の状況に応じて配当性向等を勘案し、安定した配当を実施することを基本方針としております。内部留保資金の用途につきましては、今後の事業活動並びに経営基盤の強化に有効活用していく方針であります。

- 
- 2016年3月期第2四半期決算概要
 - **トピックス**
 - 参考資料（会社概要）

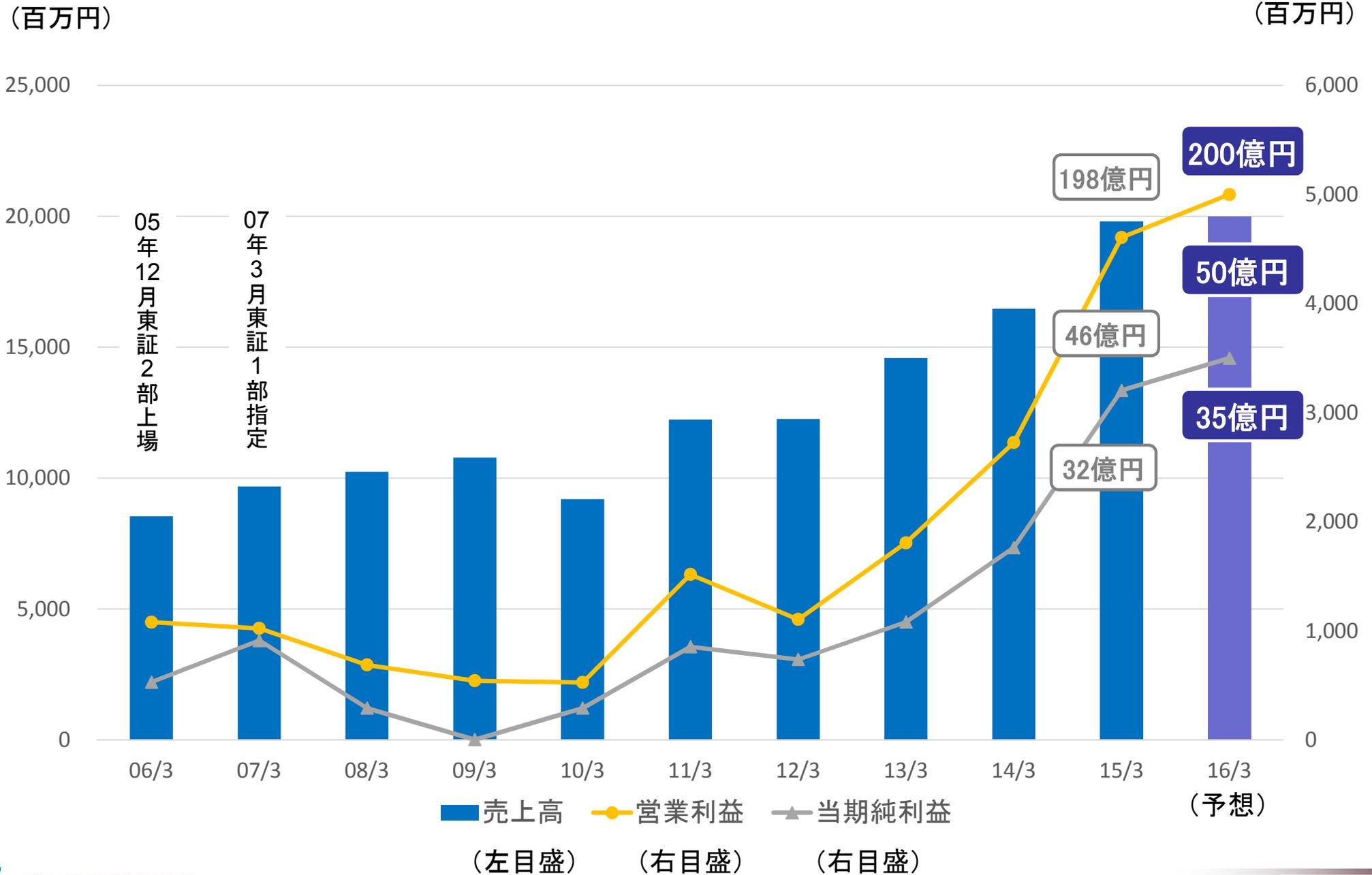
業績予想

(単位:百万円)

決算期	2016年3月期			
	上半期 (実績)	通期 (期首予想)	通期 (修正予想)	前期に対する 増減率
売上高	9,928	21,400	20,000	1.0 %
営業利益	2,350	5,000	5,000	8.5 %
経常利益	2,387	5,000	5,000	3.4 %
当期純利益	1,605	3,500	3,500	9.2 %
1株当たり 当期純利益	227円64銭	496円15銭	496円15銭	—

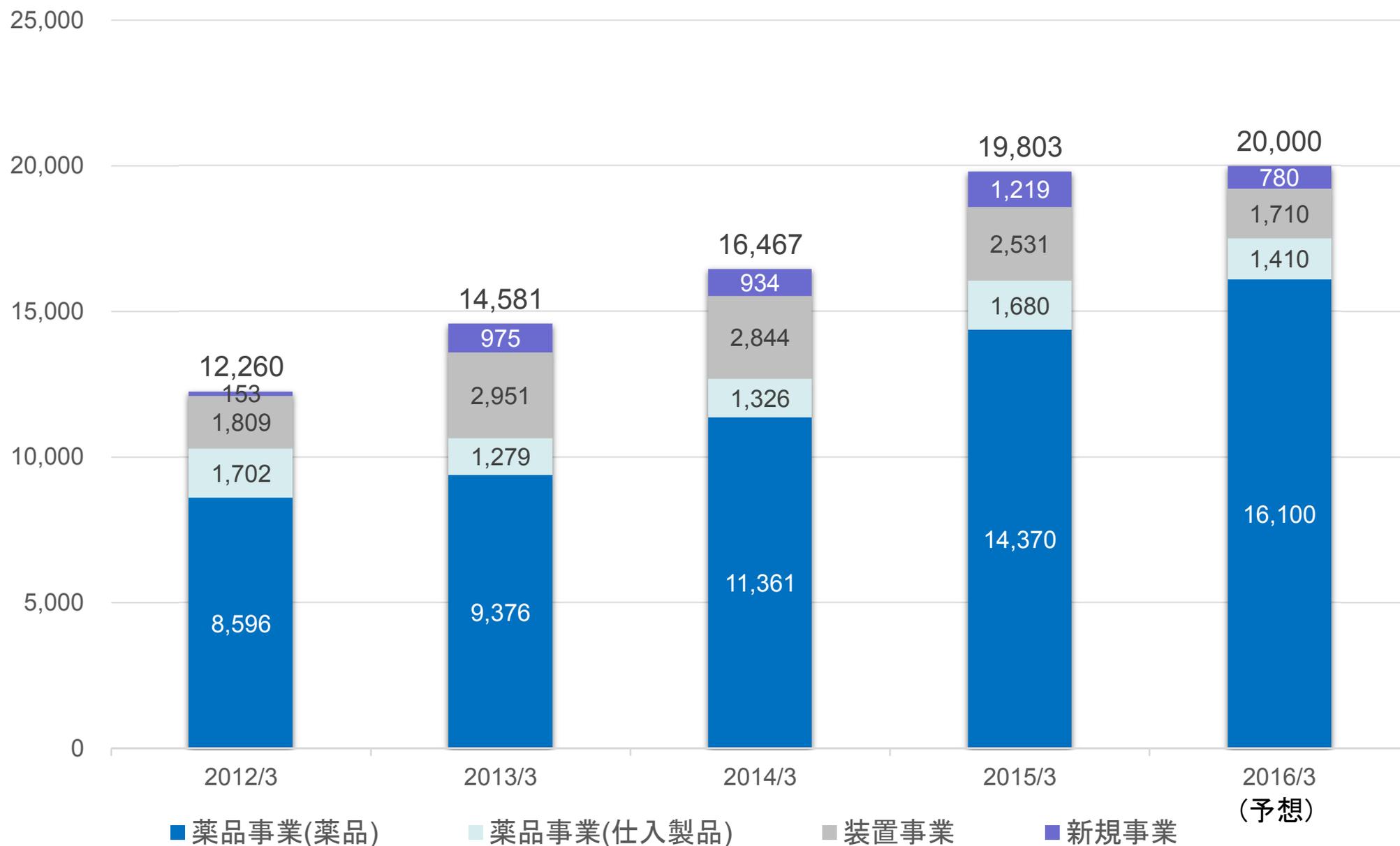
※ 売上高を20,000百万円に修正
(期首予想比: ▲1,400百万円)

上場からの業績推移（予想）



年度別製品構成別売上高推移（予想）

（単位：百万円）



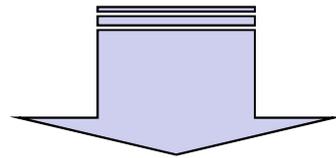
FPC(フレキシブル基板)戦略プロジェクト

【進捗報告】

前回報告(まとめ)

フレキシブル基板(FPC)・・・薄く柔軟性があり、折り曲げられる基板。

- ◆ 近年、スマートフォン等のモバイル機器に使用され、FPCの需要が増加。
- ◆ FPCの市場拡大にあわせて、**新しい製造工法(オールウェットメタライズ法)**を提案。
- ◆ FPCメーカーが素材に直接めっきを行うため、商流の変化が起こる。(次頁、参照)
- ◆ スパッタによる工法と異なり、穴の開いた素材に対して1度に両面へめっきができるため、より微細な回路の形成が可能。**(先孔工法)**
さきあな
- ◆ ロール to ロール式の装置と薬品のセット販売 → **生産性UPと大幅コストダウン**



技術的にもコスト的にも優位性あり！

FPC(フレキシブル基板)戦略プロジェクト【進捗報告】

FPCの商流

〈ターゲット〉

- ◆ FPCメーカーのFCCL工程の内製化（コストダウン、軽薄短小化）
- ◆ FCCLメーカーへの新工法提案（コストダウン、軽薄短小化）
- ◆ パッケージ基板へFPC採用（軽薄短小化）

ポリイミド(Pi)
フィルムメーカー

フレキシブル銅張積層板
(FCCL)メーカー

FPCメーカー

最終製品メーカー

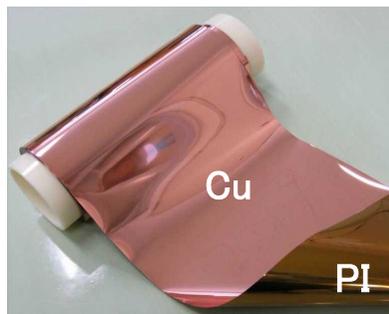
ポリイミドに銅箔(Cu)を張る。

FCCLを購入し、回路を形成してFPCを製造する。

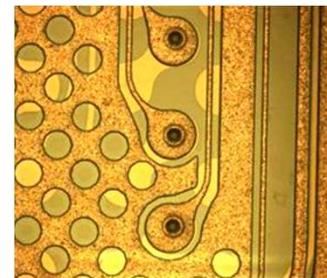
スマートフォンメーカー
TVメーカー、PCメーカー等



ポリイミド(PI)



FCCL(フレキシブル銅張積層板)



両面FPC



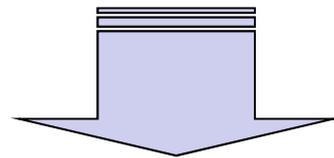
FPC(フレキシブル基板)戦略プロジェクト 【進捗報告】



ロール to ロール式無電解めっき装置

進捗状況

- ◆ 本プロジェクトの肝となるロール to ロール式無電解めっき装置が大方完成。
- ◆ 現在、水試運転を終え、薬品と装置の相性を確認する試験を実施中。
- ◆ 装置機構の難易度は高。薬品試験と同時に、装置の調整が必要。
- ◆ 次のステップとして、ロール to ロール式の電解銅めっき装置とプラズマ装置での評価試験を実施。
- ◆ 国内外の顧客から、評価テスト依頼の問い合わせあり。
- ◆ 年明け早い段階で、顧客の評価試験を実施が目標。



第1ステップはクリア！

目標に向かい、1つ1つ対処すべく総力を挙げて対応中！

水事業の紹介

【富士桜長命水】

新規事業：水事業の紹介

立ち上げの背景

- ◆ 中国において、環境問題の一つとして飲料水の安全性が課題となっている。
- ◆ 中国のミネラルウォーター市場は、年間約13%で成長。
- ◆ 特に、国内外の高価格帯の天然水の伸びが好調。
- ◆ 当社が販売する水は富士山の麓、富士河口湖町を取水地とするOEMより供給。

中国での活動

- ◆ 当社北京の現地法人を通じて展開。
- ◆ ホームページ及びネット通販サイトを開設し、個人向けのPRを開始。
- ◆ その他、コンビニチェーン、日系スーパー、デパートに対して取扱の提案中。

新規事業：水事業の紹介



富士桜長命水(中国販売名:富士桜ちょうめい水)

富士山の麓、標高1,000mに位置した富士河口湖町の良好な採水地で、地下150mから汲み上げた貴重な天然水。バナジウムを59 μ g/L含有。容量12Lで水が減っても容器内に空気が入らない衛生的な使い捨てタイプ。また、サーバーが無くても給水可能な蛇口付。

新規事業：水事業の紹介

今後の展開

- ◆ 上海に水事業に関する現地法人を設立予定。(2016年早々の活動開始目標)
- ◆ 中国市場の次の展開として、日本国内の販売を検討。
- ◆ 国内の宅配水市場は拡大傾向であるが、一般家庭への普及率は低い。
- ◆ 市場の成長性を含め、現在調査中。

天然水という、握手。



世界が直面するであろう食糧難と水不足。
まずは天然水事業で、その課題に臨んでいく。
JCU 代表取締役会長 兼 CEO 粕谷佳允

21世紀は食糧難と水不足の時代になると言われています。幸い日本には、世界に誇れる豊富な水資源があります。この資源を、さまざまな事業を通じて社会に還元できる人々のために活かしたい。誰もが安心して飲める水として提供したい。その強い思いが、新たな天然水事業をスタートさせました。「富士極楽水」は、富士山の麓から採取し、注目成分であるケナシウムを含んだ天然水。まずは、中国から販売をスタートし、求められているものを、求めていく人へ。私たちがこれからは、事業の枠を超えた挑戦を続けていきます。



株式会社JCU 東京都中央区新富1丁目1番1号 電話 03-6807-7900
〒100-0001 東京都中央区新富1丁目1番1号 電話 03-6807-7900
JCU 上海 中国上海市 上海外灘 100 号 電話 021-6000-8888



- 2016年3月期第2四半期決算概要
- トピックス
- **参考資料（会社概要）**

会社概要

創業 : 1957年 12月

設立 : 1968年 4月 1日

資本金 : 11億7,625万円

本社所在地 : 東京都台東区東上野 4-8-1 TIXTOWER UENO 16階

業務内容 : 表面処理薬品、表面処理装置及び関連資材の製造・販売

代表者 : 代表取締役会長兼CEO 粕谷 佳允 、他2名

従業員数 : 単体 258名 連結 522名 (2015年9月末現在)

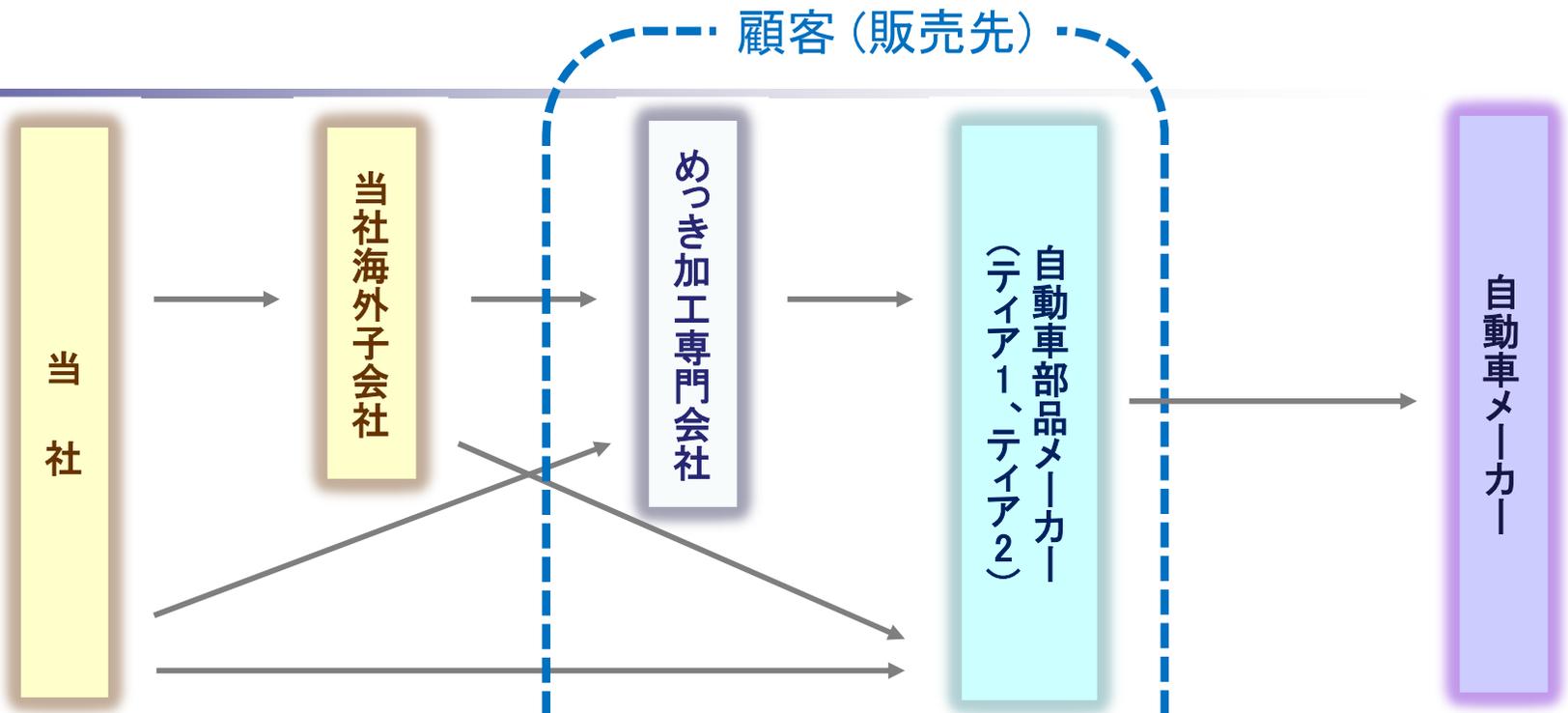
拠点 : 国内 6拠点 海外 13現地法人

ISO認証取得

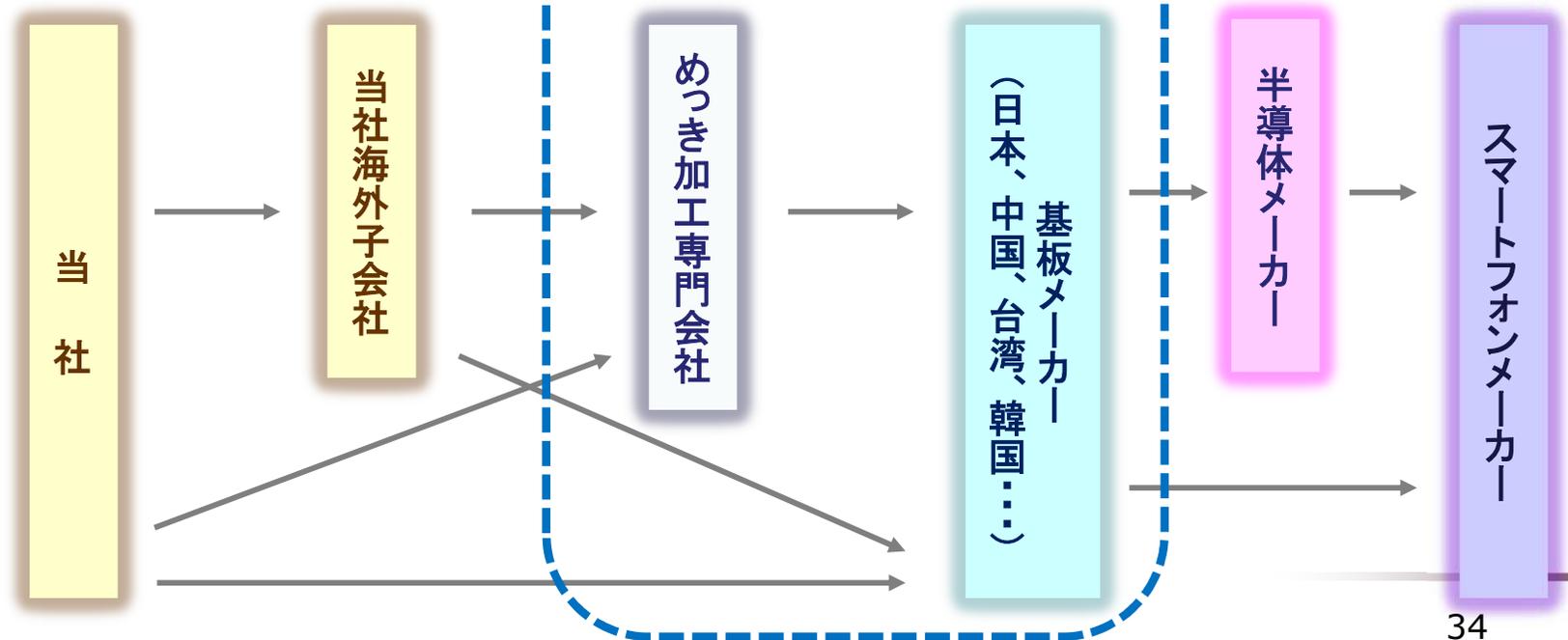
ISO9001	生産本部・薬品調達部・薬品事業本部・本社営業部・総合研究所	JCQA-0281
ISO14001	生産本部・総合研究所	JCQA-E-0143

主な商流

自動車



スマートフォン



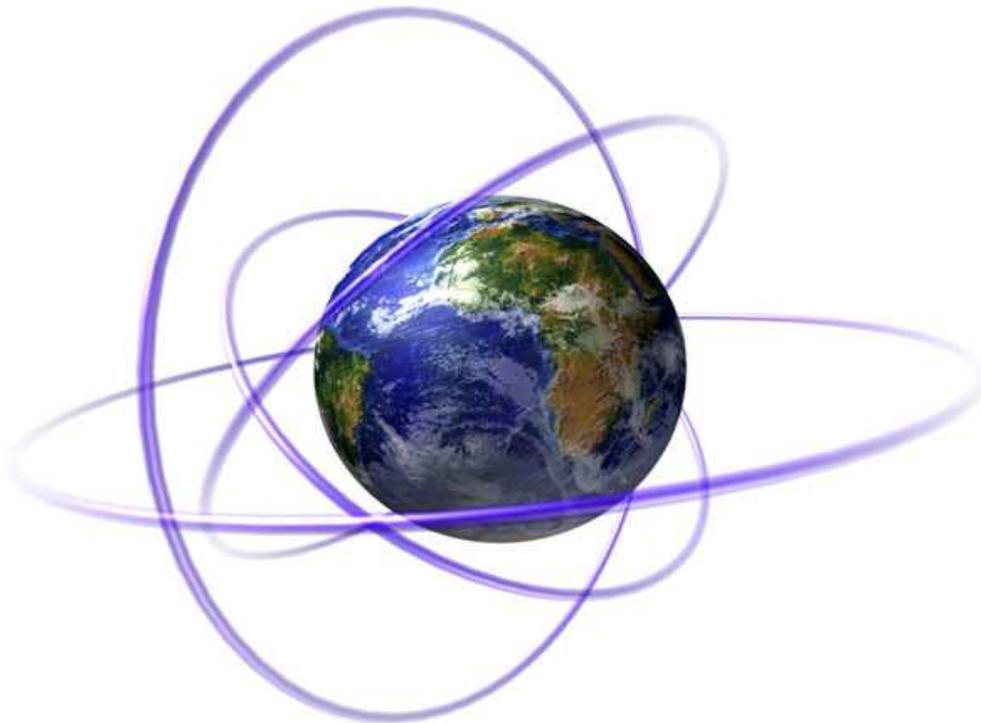
主な製品

薬品事業	装飾・防錆分野向け (基幹薬品)	自動車部品(フロントグリル、ドアハンドル、エンブレム等) 水栓金具(給水機器、シャワーヘッド、排水栓等) 建築部品(ボルト、ナット等)
	電子分野向け (電子薬品)	プリント配線板(両面板、多層板、ビルドアップ配線板、パッケージ基板等) 電子部品(リードフレーム、チップ部品、コネクタ等) 半導体(シリコンウエハー)

装置事業	全自動表面処理装置	素材の投入からめっきの完成まで自動運転をする装置
	付帯機器	表面処理装置に付随する、ろ過機等の付帯機器の製造販売
	自動分析管理装置	めっき液の濃度を分析し不足分を補給して、自動で管理する装置

新規事業	プラズマ装置	プリント配線板のめっき前処理用等の洗浄処理装置
	カラーリング加工請負	スパッタリング装置による部品のカラーリング加工請負
	太陽光発電装置	太陽光発電装置(パネル)の設置・施工
	コーティング	ボルト・ナット等に適用するコーティングプロセスの開発・販売
	貴金属めっき	金やパラジウムをはじめとする貴金属めっきプロセスの開発・販売

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります。この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。



当社ホームページ:

<http://www.jcu-i.com/>

お問い合わせ先:

TEL: 03-6895-7001

FAX: 03-6895-7021

Mail: ir@jcu-i.com